

## 飯山市公共交通の再構築について（概要）

### 1、いいやま相乗り乗りタクシー実証実験について

- (1) 実施期間  
・令和 7 (2025) 年 10 月 15 日～令和 8 (2026) 年 1 月 31 日（109 日間）
- (2) 運行実績  
・予約件数 508 件 運行数 386 件 【 成約率 76.3% 】  
不成立 120 件
- (3) 利用傾向  
・成立した運行のうち 338 件（87.6%）が単独運行。相乗りは 48 件（12.4%）。  
・曜日別では、金曜日の予約が多く、日曜日の予約は極端に少ない。  
・時間別では、9～10 時台の予約が多く、早朝や 17 時以降は少ない。  
・予約件数 508 件のうち、特定市民の割合は 84.4%。
- (4) 課題  
不成立の解消。予約方法の改善。相乗り率の向上。  
わかりやすい名称の検討。着信通知音声化等システムの機能強化。

### 2、いいやまライドシェア実証実験について

- (1) 実施期間  
・令和 7 (2025) 年 12 月 12 日～令和 8 (2026) 年 3 月 31 日（110 日間）
- (2) 運行実績  
・予約件数 345 件 運行数 159 件 【 成約率 46.1% 】  
キャンセル 51 件  
不成立 135 件  
・ドライバー数 7 人
- (3) 利用傾向  
・利用者のうち 8 割が外国人。  
・飯山市発着が 65.4%、次いで野沢温泉が 19.2%。  
・予約は 12 月下旬から 2 月下旬まで。3 月の予約は微少。  
・事前決済は利用者及びドライバーともに好評。
- (4) 課題  
不成立の解消。利用アプリの認知度。実施方法（日本版・公共）の適正化。



### 3、乗り合いタクシー利用状況について

- (1) 令和 7 (2025) 年度利用状況

	年間延利用者数（1 便あたり）	支出額／人	※参考: タクシー料
富倉大川線	1,257 人（1.3 人）	6,549 円	6,400 円
岡山下段線	519 人（1.4 人）	7,410 円	9,900 円
瑞穂木島線	553 人（1.5 人）	6,611 円	5,400 円
柏尾線	32 人（1.0 人）	26,781 円	5,400 円
小境線	928 人（1.6 人）	7,714 円	5,900 円
上野線	46 人（1.0 人）	38,196 円	4,100 円
深沢永田線	245 人（1.2 人）	4,955 円	4,000 円
温井線	1,054 人（2.0 人）	7,585 円	8,800 円
合計	4,634 人	7,492 円	

※タクシー料金は、当該路線の最長区間の料金です。

- (2) 課題  
乗り合い機能が著しく低下している路線、経費がタクシー料金を上回る路線の見直し。

## 再構築（総合的な見直し）のポイント



### ドライバーの確保

人手不足の状況下においても、持続可能な運行体制を構築する。



### 財政負担の最適化

市支出の効率化を図り、持続可能な財政運営を目指す。

### 生活と観光の足の確保

通勤・通学・通院および観光需要に対応し、必要な移動手段を確実に確保する。



### 利便性の向上

自宅から停留所までの移動負担を軽減し、高齢者をはじめとする移動困難者の利便性を向上させる。



## 再構築の方針

### ■ 乗り合いタクシーの再編成(R9 (2027) 年4月～)

乗り合いタクシーの「見直し基準」を設定し、公表したうえで現行の運行を継続。令和8(2026)年9月末時点で基準に達していない路線を「見直し対象」とし、公共交通会議において、再編（継続・休止・減便）について協議していく。休止となった路線に関しては、相乗りタクシーで補完し、市民の移動を確保する。

【見直し基準】 ※別冊資料編 p.33 参照

- (1) 休日の利用者が著しく少ない路線は、休日の運行を休止する。
- (2) 各路線の総利用者数に対し、各便（時間帯の便）の利用割合が、10%に満たない低利用便の運行を休止する。
- (3) 以下の基準の両方に該当する路線は路線自体の運行を休止する。
  - ① 1便あたりの利用者数 1.2人以下
  - ② 1人あたりの市支出額 タクシー料金以上

例：柏尾線

① 1便あたりの利用者数	1.0人
② 1人あたりの市支出額	26,781円
(タクシー料金)	5,400円)

### ■ いいやま相乗りタクシーの本格運行

利用者及び運行事業者が利用しやすい仕組みの構築のため、運行方法や予約方法の課題を解消し、令和8(2026)年10月から本格運行を目指す。※別冊資料編 p.39 参照

※LINEアプリの利用や予約システム機能強化により、利用と運行双方の利便性を向上して実施。

### ■ いいやまライドシェアの本格運行

冬期間における観光客の広域的な移動を担う観光二次交通として有効と判断できるため、令和8(2026)年の冬期間(12月～2月を想定)において本格運行を目指す。

※制度(公共・日本版)の長短を整理し、最適な方法で実施。

### ■ 路線バス小境線の乗り合いタクシー化の検討

城北小学校の開校に伴い、路線バス小境線(平日の朝夕運行)の通学利用者が減少したため、改めて利用状況を調査し、全ての時間帯で乗り合いタクシーとして運行可能か検討する。

### ■ その他 次期地域公共交通計画【令和9(2027)～令和13(2031)】

スクールバス等車両資源の活用や料金の見直し等の必要性について検討していく。